



五小だより

国立市立国立第五小学校
学校だより

No. 1

平成31年4月8日

子供たちの成長を共に支える学校へ ～ どうぞよろしく願いたします ～

校長 向井 美紀



学校近くの公園で遊ぶ子供たちに桜の花びらがひらひらと舞ってきました。桜の枝の方へ手を差し伸べる子供たち、地面に溜まったピンクの花びらを掬い、また空中に放り出し、その様を見て微笑み合う子供たち…。季節を肌で感じて楽しむ子供たちの素直で瑞々しい感性にいつも感心します。

このたび、中村 寿校長の後任として国立市立国立第七小学校から着任いたしました向井 美紀と申します。これまで、保護者の皆様や地域の皆様が、教職員と手を取り合い、子供たちの成長を育み、国立第五小学校の歴史と伝統をつくって

こられたことに大変感謝申し上げます、今後さらに発展させていくことができるように取り組んでまいります。

本日、67名の1年生を迎え、全校児童389名とともに、新年度の教育活動をスタートさせることができました。ご入学・ご進級、誠にありがとうございます。保護者の皆様が愛情を注ぎ、大切に育ててこられたお子様を学校でしっかりとお預かりし、全教職員で指導してまいります。

4月1日に元号が発表され、今年「令和元年」となります。「令和」は日本最古の歌集である「万葉集」の大友旅人の漢文からの引用で、日本の元号の典拠が漢籍（中国の書籍）ではなく、国書からとなるのは初めてのことということは、皆様にご周知のとおりです。一人一人の人権が大切にされ、将来、花を咲かせることができるように、私たち大人には、種をまき、水や肥料をやり、太陽に当て、子供たちが健やかに成長できるようにしていくことを後世までつなげていく使命があります。

本校の教育目標は、「学びあう子・助けあう子・きたえあう子」であり、すべてに「あう」という言葉が入っています。少子高齢化・グローバル化・情報化・多様化が加速度的に進む時代を生き抜いていく子供たちは、社会の変化に主体的に向き合い、仲間（友達）と共に知恵を出し合い、課題を解決していかなければなりません。これからの社会は、多くの課題に一人で立ち向かうのではなく、仲間と共に考え、ベスト（Best）ではないかもしれませんが、ベター（Better）な解を出していくこと、そしてその都度最適な解決方法を探していこうとするしなやかな思考・判断が求められます。

一人一人の子供たちが、やがて美しく、その人らしい花を咲かせることを願って、私たち「チームくにご」は、子供たち一人一人の成長を共に支え、共に喜び合える学校を目指し、教育活動を進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、学校にぜひお力を貸していただき、子供たちの成長と一緒に見守っていただけたら嬉しいです。どうぞよろしく願いたします。

